

新型
コロナへの
対応

私たちの願いと 工夫はここにあり。

新型コロナ 県内8地域・65歳以上
住民アンケートに見る
三重の姿・かたち 2020年度版
みえ労連新聞 2020年11月号
〒514-0015 三重県津市寿町7-50 みえ平和と労働会館
TEL 059-223-2615 FAX 059-223-4495

緊急事態宣言解除後、秋冬の感染拡大に備え、緊急住民アンケートを実施しました。

私たち「みえ労連」は、「県内どこでもいつでも安全安心の医療と介護」を目指して運動を進めています。

その取り組みの一環として、「新型コロナの感染リスクが高い年代（65歳以上）に着目」し、同時に「県内8医療圏の医療資源の改善・格差解消」と「認知症など介護充実」を目指して、右の表の通り「住民アンケート」を実施しました。

目標とした回収数を上回る1079人（地域不明は除く）の方から回答していただき、関心の高さを示しました。

この結果を、国・自治体・関係者のみなさまにお知らせし、地域医療・介護の充実に一石を投じたいと思います。

また同時期に、「みえ労連」も参加して、学者・研究者・医師・労働組合など立場を超えた方々で、「三重の医療と介護をより良くするネットワーク」を立ち上げることが出来ました。切迫する新型コロナに対応する様々な運動の牽引車として期待します。

（この調査時期に三重県内で発生した「新型コロナ陽性者」は、延べ368名でした。）

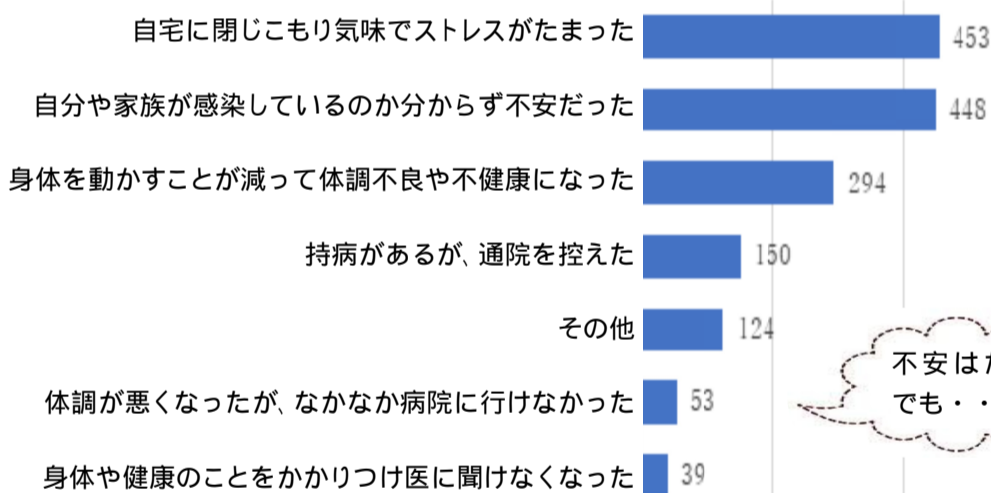
地域名(8地域医療構想調整会議別) (市町名)	65歳以上人口	人口 0.1%	回収数 (%)
桑員 (木曾崎町・桑名市・いなべ市・東員町)	58,928	589	119 (101%)
三泗 (四日市市・菰野町・川越町・朝日町)	94,623	946	224 (119%)
鈴亀 (鈴鹿市・亀山市)	61,740	617	191 (155%)
津地区(津市)	80,749	807	141 (87%)
伊賀 (伊賀市・名張市)	53,695	537	48 (44%)
松阪 (松阪市・多気町・大台町・明和町・大紀町)	67,113	671	147 (110%)
伊勢(伊勢市・鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・南伊勢町)	77,384	774	135 (87%)
東紀州 (尾鷲市・紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町)	28,356	284	74 (132%)
計	522,588	5,225	1079(105%)

(県内8地域・65歳以上住民アンケートの取り組み)

- ・実施時期 2020年6月15日～8月15日(緊急事態宣言解除後)
- ・実施対象 県内65歳以上人口(2019.10現在)の0.1%(各医療圏0.1%)5,225名を目安。
- ・実施方法 8地域のみえ労連組合員の家族・友人・協力団体の65歳以上住民へ手渡し回収。

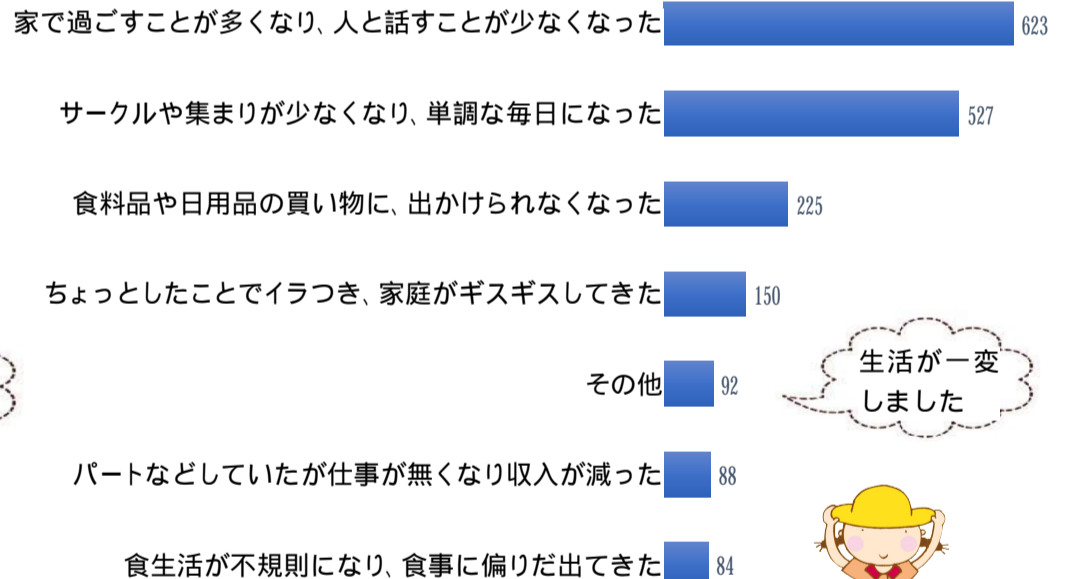
1、「新型コロナウイルス」の感染拡大防止のためとして、緊急事態宣言の発出や、外出自粛要請が出されました。不安やお困りのことはありましたか？(いくつでも○印を)

1) 感染拡大の防止、外出自粛でお困りのことや不安がありましたか？



不安はだれでも・・・

2) 緊急事態宣言の発出で、あなたの生活はどう変わりましたか？



生活が一変しました

2、今後も「新しい生活様式」が求められるようです。健康を保つために、どんな工夫をされていますか？

みんな工夫している！

「新しい生活様式」とは新しい「自粛要請」。補償をおさなりにして、「自己責任」を押し付け、守らないものを白眼視する。判断を持ち込み国民を苦しめるもの。政府の責任を国民に転化するもので健康にも悪影響を及ぼす(ストレスたまる)

様々なストレスを抱え込まないことが第1。身体的なストレスは家に閉じこもるのではなく、散歩、趣味活動、友人との遊びなどで、運動が必要に応じてできるようにする。(三泗地域)

持病があるので診察の日にはバスに乗って出かけているが、そうでない時は、ほとんど家の中にいる。できる限りウォーキングをしたりして、足が弱らないようにしている。(三泗地域)

(三泗地域)

自然の中を散歩する。食事内容に気を付ける。マスクしながらも人のつながりを大切に。家族の協力。(鈴亀地域)

(鈴亀地域)

「新しい生活様式」はプロガンダのにおいがする。出先では身体距離を取り、必要に応じてマスクを着用し、手指をしっかりと洗い消毒するだけで感染リスクはほとんどなくなると思われる。いずれ新型コロナウイルスは新型ではなく存在せざるを得ないはず。(鈴亀地域)

(鈴亀地域)

医療生協および他の民主団体や行政等の健康教室で学んだりして、不安に感じることがは相談して、明るい日々が送れるように頑張りたい。(津市)

(津市)

新聞や読書から体に良いことを取り入れる。よく新聞を読む。家庭菜園で取れる食材を工夫して調理、保存と利用。(伊賀地域)

(伊賀地域)

人と人との物理的ディスタンスは気を配り、ソーシャルディスタンスは取っ払い、よく会話し、良く動き、よく食べる。(松阪地域)

(松阪地域)

国の定める「新しい生活様式」を守るというだけでなく、外出から帰った時は「手を洗う」「うがいをする」など、良いことは実行してきた。(伊勢志摩)

(伊勢志摩)

運動と言える事は出来ないが、出来るだけ家から野外に出て、畑の様子を見たり、少し草を引いたり、気分転換を作る様に心掛けています。(東紀州地域)

(東紀州地域)

3、あなたの地域（市町）の医療と介護について（あてはまることに○印を）



新型コロナは、8地域ごとの医療資源や介護の現状を以下のように写し出しました。「かかりつけ医（1次医療）は近くにあるか」「大きな病院（2次医療）は近くにあるか」「大きな病院に充実や改善してほしいこと」「救急車の到着時間は？」を医療の現状を示す回答として、以下のように抽出しました。ご確認ください。

(1) かかりつけ医が「いない」

桑員	9.2%	(11人)
三泗	4.0%	(9人)
鈴亀	8.9%	(17人)
津	10.6%	(15人)
伊賀	4.2%	(2人)
松阪	10.9%	(16人)
伊勢志摩	4.4%	(6人)
東紀州	10.8%	(8人)
全体	7.7%	(84人)

(2) 大きな病院（二次救急）が「近くにない」

桑員	27.7%	(33人)
三泗	20.1%	(45人)
鈴亀	24.0%	(47人)
津	11.3%	(16人)
伊賀	18.8%	(9人)
松阪	5.4%	(8人)
伊勢志摩	13.3%	(18人)
東紀州	24.3%	(18人)
全体	18.0%	(198人)

(4) 救急車の到着時間が「遅かった（30分以上）」

桑員	5.0%	(6人)
三泗	1.8%	(4人)
鈴亀	3.7%	(7人)
津	2.8%	(4人)
伊賀	0.0%	(0人)
松阪	3.4%	(5人)
伊勢志摩	2.2%	(3人)
東紀州	9.5%	(7人)
全体	3.3%	(36人)



(3) 大きな病院で、充実や改善してほしいこと（いくつでも）

- A **がん**、脳卒中、心臓病など、専門的な治療 B **救急**医療、災害医療など C **安心**して入院やりハビリができるようにしてほしい D **介護**との連携の強化

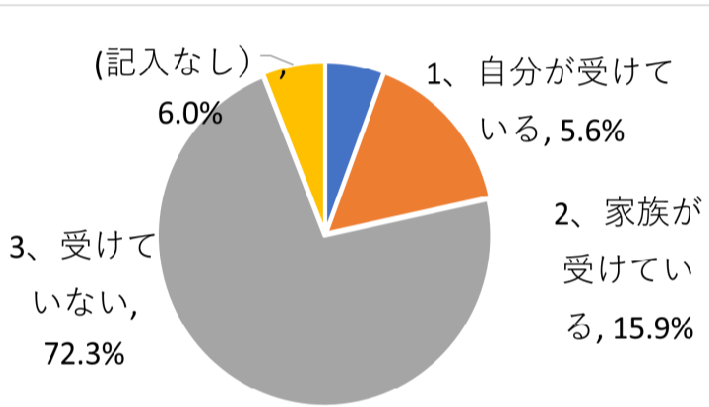
桑員	三泗	鈴亀	津	伊賀	松阪	伊勢志摩	東紀州	全体
安心(53)	安心(110)	安心(107)	安心(80)	救急(24)	安心(90)	安心(90)	がん(45)	安心(592)
がん(45)	介護(95)	介護(90)	がん(60)	介護(24)	救急(89)	介護(55)	安心(35)	救急(448)
介護(39)	救急(88)	がん(80)	介護(54)	安心(23)	がん(58)	救急(50)	救急(30)	介護(430)
救急(36)	がん(78)	救急(76)	救急(52)	がん(15)	介護(43)	がん(38)	介護(28)	がん(424)

(地域名無記入があるため、合計数字は合いません)

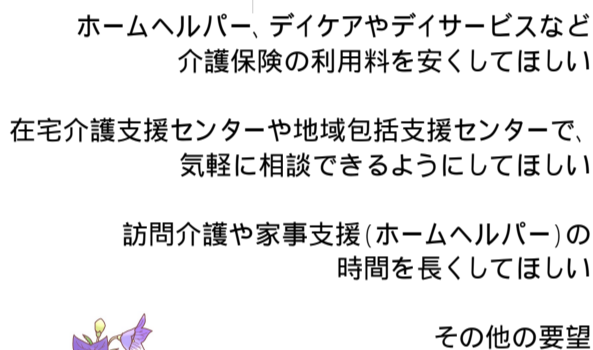
(5) 家庭で介護を受けています(いました)か？



(6) ご家庭での療養や介護での要望を教えてください。

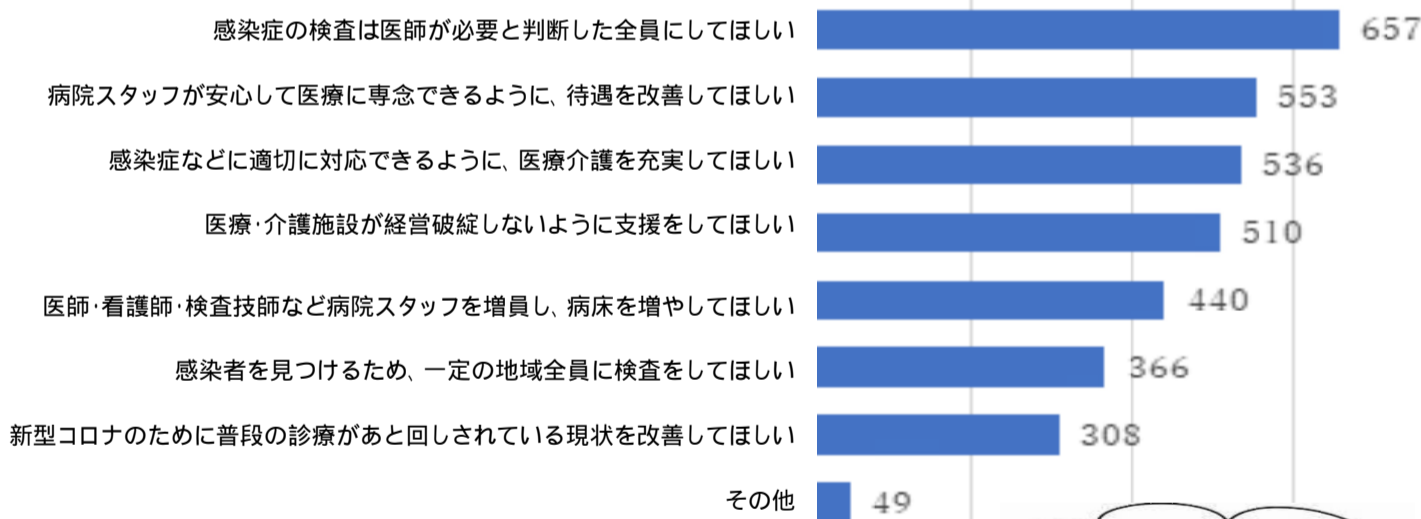


多くの人にとって介護はこれから...



安心して療養・介護が受けられるように

4、国・自治体の医療・介護政策や新型コロナ対応についての、ご要望を教えてください。



(7) あなたやご家族について、認知症で心配なこと、相談したいことがあれば教えてください。

老々介護、徘徊、ホームの利用料、家族の生活...

鈴鹿市長に要望書

10月16日 鈴鹿市役所



2つのクラスターが発生し県内で感染者数が最多となっている鈴鹿市で、10月16日(金)、鈴鹿労連(鈴鹿亀山地域労働組合総連合)と鈴鹿社保協は末松鈴鹿市長に「新型コロナウイルスへの緊急対策を求める要望書」を手渡し、エッセンシャルワーカーへの定期的なPCR検査や生活困窮者への支援などを要望しました。懇談には保育や介護で働く仲間も参加し、コロナ禍のもとでの現場の苦勞をこもごも訴えました。

家族が寝たきりになった時、自分より体が大きいので世話をするのがむづかしい、すぐに受け入れてくれる施設はあるか。物忘れがひどくなり、認知症に近づいてきている不安があります。(桑員地域)

介護する家族が疲弊しないようにしたい。(老々介護の場合、共倒れになるのではない心配)。役場に相談しても通り一片の答えしか返ってこない。もっと相談者に寄り添い親身になって欲しいと感じることが多い。(三泗地域)

認知機能の低下が始まると同じ事ばかり言ったり、約束を忘れたり、物事ができなくなるなどのことが起こるため、これまでの地域の人間関係がくずれていくことが起こりやすい。そんな中でも、誰でもいとも通りにお付き合いできる居場所と地域の理解がほしい。(三泗地域)

認知症の家族をみていた時は、よく外に出かけてしまい、探し回らなければならなかったため、対応できる方法があったら、知りたい。(鈴亀地域)

夫婦で認知症の検査を受け、全く「ない」の結果。簡単な設問とペーパーだけで？ 実生活の中でのリアルな観察と医学的な脳内検査が必要なのは... 国は覚悟を決めてもっと本気を！ 市民、国民、自治体に丸投げせず、情報を集めて、情報隠しをするな！ PCR検査の実施データがない。(鈴亀地域)

早くPCR検査ができるように。感染したらすぐ入院できるように。(津市)

地域包括センターは、制度上の規定されたこと中心の仕事。老人福祉法で規定される在宅介護支援センターは、オールマイティの相談機関なので、これを重視すべき。(松阪地域)

夫が認知症でホームに入所。利用費が高く残された家族の生活が困難。自分も要支援1の障害者です。(伊賀地域)

自分が認知症になった時、施設に入れられ、自由をうばわれる事が心配。できる事はやらせてもらえ、必要なケアを受けながら自宅で生活させてもらえたらよいが。(伊勢志摩)

気楽に相談・診療してもらえ病院が近くにあってありがたい。(東紀州)

認知症との共生社会を